

■ 平成 29 年度事業計画書 ■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

II 事業計画の前提

1. 基本方針

キンボールスポーツが広く社会に受け入れられ、愛好者や支援者を増やしていくために、今まで継続してきた事業に加え、新中長期目標を形あるものにしていくために積極的にチャレンジしていく。

昨年主催したアジアカップ大阪大会の実績をもとにワールドカップ東京大会の成功に向け、連盟の総力を結集していく。また次年度連盟発足 20 周年に向け、周年事業に取り組む準備を進める。

あわせてリーダーシップを発揮できる新しい人材の育成と将来を見越した組織基盤づくりにも力を注いでいく。

■新中長期目標 6 項目■

■ 学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等に働きかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

■ 国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

■ 全国 47 都道府県支部設立及び日本体育協会への加盟

全国 47 都道府県すべてに支部を設立することをめざします。支部が設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及を進めます。また、関係者に働きかけ支部設立に取り組んでいます（現在 38 都道府県に支部ないし準支部設立）。支部の都道府県体育協会加盟も推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■ アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

平成 23 年（2011 年）の兵庫県宝塚市におけるパンパシフィックカップ開催を契機にアジア諸国に働きかけ、平成 28 年（2016 年）より正式活動を開始いたしました。アジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■ 多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

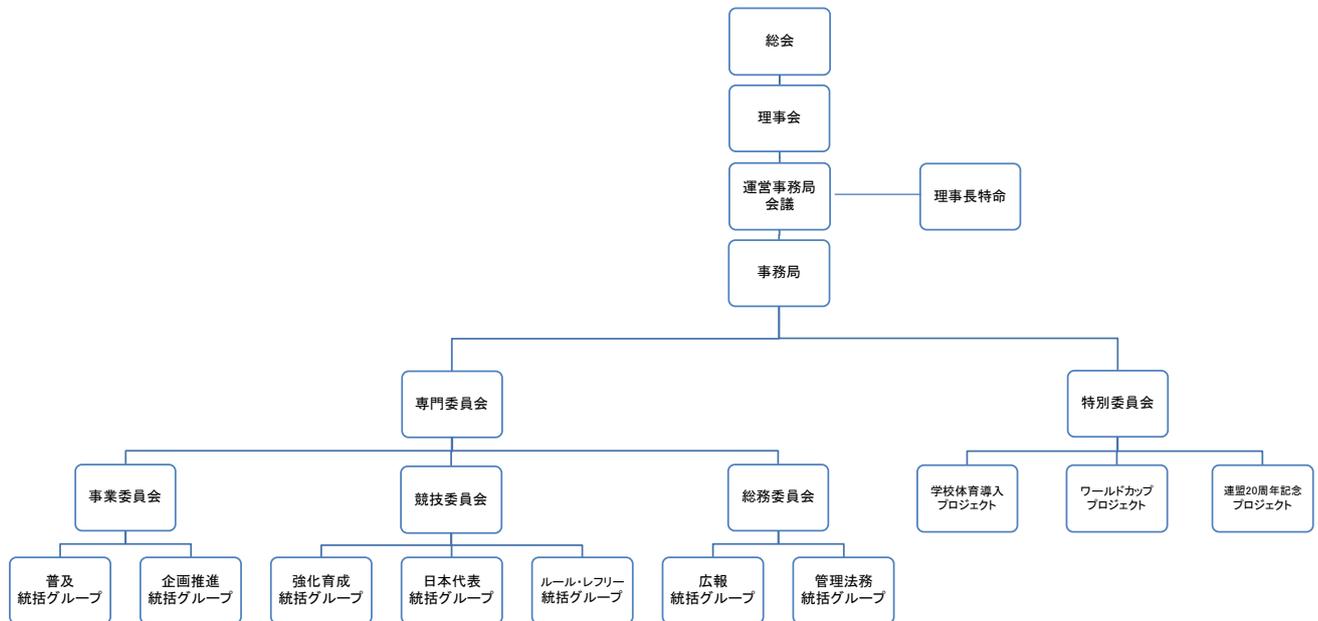
キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■ 組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

平成 22 年（2010 年）度より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

2. 組織運営

- (1) 日本キンボールスポーツ連盟の次世代へつなぐ運営体制づくりのため、普及、強化、基盤整備を柱として、当連盟運営組織の充実拡大を図り、最前線で指導的立場にある人材を登用することによって、新たな意見を運営に活かしていく。
- (2) 総会、理事会で決定した事項の実施についての詳細は運営事務局会議で検討する。
- (3) 運営事務局会議で決定した事柄について、委員会（専門委員会、特別委員会）において業務、任務にあたる。また、各委員会、プロジェクトより運営事務局会議に対して各種提案も行う。



Ⅲ 事業別計画

1. 主催事業 計 24 事業

(1) 大会主催 4 事業

①世界大会

【事業名】第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会

【場 所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【期 間】10月30日(月)～11月5日(日)

【備 考】2017年度国際キンボールスポーツ連盟加盟国および地域(香港、マカオ、台湾等)

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成29年度スポーツ振興基金助成事業(申請中)

②世界大会

【事業名】第3回キンボールスポーツ クラブチャンピオンシップ 2017 東京大会

【場 所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【期 間】11月3日(金祝)、11月5日(日)

【備 考】クラブ対抗戦

③全国大会

【事業名】第18回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【場 所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【期 日】2月12日(月祝)

【備 考】他国よりの参加も認める。

※公益財団法人スポーツ安全協会 平成29年度スポーツ普及奨励助成事業(申請中)

④全国大会

【事業名】第18回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

【場 所】香川県高松市 高松市総合体育館

【期 間】9月17日(日)、18日(月祝)

【備 考】他国よりの参加も認める。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成29年度スポーツ振興くじ助成事業(申請中)

(2) 講習会主催 20事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者およびレフリー養成、愛好者のスキルアップ

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、指導者、愛好者

【備 考】各地域の状況、希望に応じた内容の講習会を1日ないし2日間にて主催実施。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成29年度スポーツ振興くじ助成事業(申請中)

2. 指導者派遣事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成、レフリー資格更新講習および試験

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、愛好者、指導者、レフリー

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成29年度スポーツ振興くじ助成事業(申請中)

3. 普及推進事業

(1) キンボールスポーツ学校体育導入プロジェクト

【内 容】

キンボールスポーツを継続して取り入れてもらえるよう、体験および見学場所等の手配や教員指導のための講師派遣を行う。

【場 所】全国

【対象者】小学校、中学校、高等学校教員

(2) 支部、リーグ助成

【内 容】

①支部(正会員である都道府県連盟)に対して、当該各都道府県在住を中心とした普通会员所属者数に応じて会費還元金として各都道府県連盟に活動資金として支払う。

②支部が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。

③競技としての発展および活性化目的のために、支部等の主催で行うワールドカップに準じた試合形式のリーグ戦を開催するにあたり、経費の一部を助成する。

(3) 広報

【内 容】キンボールスポーツのPR活動

【備 考】

- ① 広報誌（会報）の制作・発送（1回）年度末実施予定。
- ② ウェブサイト（ホームページ、フェイスブック等）の管理、運営。通年実施。
- ③ 生涯スポーツ・体力づくり全国会議等の催しでの展示。随時実施。

(4) キンボールスポーツパートナーシップ

【内 容】

- ① パートナー団体、企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体、企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ② 横断幕、ポスター掲示および資料、サンプルの配布ブースの提供などにより、協力団体をアピールする。

【場 所】主催および後援大会・講習会会場他

【期 間】随時開始 開始より1年間。

(5) キンボールスポーツ普及協力

【内 容】キンボールスポーツの用具、備品賃貸

【備 考】希望者に対し用具、備品の貸与を行う。

(6) グッズ企画

【内 容】備品等の新商品企画立案

【備 考】キンボールスポーツに関する備品の商品化を企画する。

4. 団体運営関連事業

(1) 諸会議

【内 容】当連盟運営に関する事項についての審議

【場 所】本部事務局他

【備 考】

- ① 定時社員総会 1回（大阪／6月17日予定）
- ② 理事会 2回（5月28日、3月予定）
- ③ 運営事務局会議 6回程度
- ④ 各委員会およびグループ会議 随時
- ⑤ ワールドカップ関連会議 6回程度

(2) 主催事業および団体関連の保険加入

【内 容】主催事業および団体での保険加入

【備 考】

- ① 年間契約（対象：主催大会・講習会／更新月：10月）の事業傷害保険を更新。
- ② 役員、委員会メンバー、事務局スタッフのスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）加入。
- ③ 団体賠償責任保険を変更。新規加入。

5. 29年度特別事業

(1) ワールドカップ日本代表チーム強化事業

【内 容】ワールドカップ男女日本代表候補および代表チームの強化

【場 所】全国

(2) ワールドカップ 2017 準備事業

【内 容】 第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会の準備

【場 所】 全国

(3) スポーツ推進委員等への普及推進事業

【内 容】

生涯スポーツとして取り入れてもらうため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどに向けて講習会の開催および指導者の派遣

【場 所】 全国

【備 考】 支部と協同して実施。平成 27 年度よりの継続事業。

(4) 大学教員への普及推進事業

【内 容】 大学の授業への取り入れ、サークルおよびクラブ発足に向けた大学教員向け講習会の開催

【場 所】 関東および関西地区

【備 考】 協力団体と協同して実施。平成 27 年度よりの継続事業。

(5) 活動事例集の編纂事業

【内 容】 活動事例をまとめた資料集の制作事業

【場 所】 本部事務局他

【備 考】

全国各地で行われてきた活動事例をまとめ、独自のアピールポイント等を織り込み、競技としての良さをアピールできる小冊子を作成する。大学等での研究活動促進、並びに行政に対する導入PRに役立つ資料を目的とする。平成 28 年度よりの継続事業。

(6) 20 周年事業の準備事業

【内 容】 団体設立 20 周年事業（式典、記念誌発行等）の準備

【場 所】 全国